

*Filobacterium rodentium* (CAR bacillus)監視項目から解除いたします

謹啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

実中研 ICLAS モニタリングセンターでは、動物に異常が見られた場合、原因追求のために、コアセットには含まれていない項目の追加検査を行っています。

2017 年、肺病変が認められる個体に対し、呼吸器病の原因となる *Filobacterium rodentium* (CAR bacillus) について抗体検査を行ったところ、抗体陽性例が散見されました。そのため、当センターの検査動物（マウス、ラット、ウサギ）に対し、*F.rodentium* の大規模な抗体調査を行いました。その結果、わが国のマウスでみられる *F.rodentium* 市井（しせい）株は、その陽性率は比較的低いものの、感染することにより、マウスに病変を形成する可能性が高いと推察されました。これらの結果より、*F.rodentium* は一連の肺病変の起因の一つと考え、2018 年より当該項目を監視項目（期限 5 年間）として設定しました。

その後、2024 年に *F.rodentium* の抗体調査を再び実施したところ、抗体陽性率は下がり、また陽性個体において肺病変は確認されませんでした。これらの結果により、2024 年 5 月から *F.rodentium* は監視項目から解除します。

今後も、病変が認められる個体に対しては、原因追及のために、セット項目にない項目の追加検査を行っていきます。

謹白

2024 年 7 月吉日

公益財団法人実中研

ICLAS モニタリングセンター